

**CADAN メンバーギャラリーによる企画展の第1弾**  
**小林万里子「背負うなら太陽だけでいい」 by KOTARO NUKAGA**

CADAN 有楽町は7月のオープン以来、メンバーギャラリーお披露目のグループ展を4回にわたって開催してきました。11月からは、ギャラリーが1軒ずつ企画展を発表していきます。展覧会は3週間ごとによって変わっていきますので、各ギャラリーの個性、そしてアーティストたちの多様な表現に次々と触れていただける場として展開していきます。どうぞご期待ください。

記念すべきトップバッターは、天王洲に拠点を持つ KOTARO NUKAGA による小林万里子「背負うなら太陽だけでいい」です。3m x 5m の大型作品「熱と水」の他、立体8点を含めた新作を中心に23点を発表します。ぜひご覧ください。

**開催概要**

展覧会タイトル：小林万里子「背負うなら太陽だけでいい」 by KOTARO NUKAGA  
会期：2020年11月3日(火・祝)-11月22日(日)  
企画：KOTARO NUKAGA

■アーティストトーク

2020年11月13日(金) 18:30-19:00

参加無料、予約優先(15名程度)

\*予約方法については後日ウェブサイトでお知らせいたします。

**CADAN 有楽町**

住所：東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル1F

電話番号：070-6464-1438

営業時間：火～金 11時-19時 / 土、日、祝 11時-17時

定休日：月（祝日の場合は翌平日）、11月15日

Website: <https://cadan.org/cadan-yurakucho/>



**\*CADAN 有楽町：**

7月17日に、一般社団法人日本現代美術商協会（CADAN）は、三菱地所株式会社と一般財団法人カルチャー・ヴィジョン・ジャパンのご協力をいただき、「CADAN 有楽町」をオープンいたしました。CADANは、若手から老舗まで国内47軒のコンテンポラリーアートギャラリーが加盟する非営利の業界団体で、2015年7月に発足以来、広く現代美術の普及を目指し講演会や展覧会といったパブリックイベントの実施、会員向けの勉強会などを行ってきました。新スペース「CADAN 有楽町」では、CADAN メンバーギャラリーが3週間ごとに交代で展覧会を企画していきます。

**\*CADAN 代表理事 小山登美夫（小山登美夫ギャラリー）のコメント：**

ギャラリーという活動をより皆さんに知ってもらうため、今回、有楽町ビルの1階に「CADAN 有楽町」をオープンいたします。丸の内、有楽町というオフィス街の真ん中で、現代美術を楽しんでいただけるエキサイティングな場として、路面から気軽に入れて、アーティストたちの思考や思想、制作に対する真剣さや新しいことにチャレンジしていく勇気を見てもらえればありがたいです。

**\*今後の予定：** 2020年11月25日(水)～12月13日(日) THE CLUB による展覧会

2020年12月15日(火)～1月10日(日) Taguchi Fine Art による展覧会

■作品・作家に関するお問い合わせ：KOTARO NUKAGA(奥山・中野) [info@kotaronukaga.com](mailto:info@kotaronukaga.com) 03-6433-1247

■展覧会、会場に関するお問い合わせ：CADAN 事務局(高村) [info@cadan.org](mailto:info@cadan.org) 090-1112-7678

## 小林万里子「背負うなら太陽だけでいい」



熱と水, 2018-2020, 300.0 × 500.0cm

「熱と水」という大きな存在、そしてそれをエネルギーに生死の連鎖を繰り返す動植物、そしてそれを見ている私たち人間の内面にも、そのエネルギーと循環のサイクルがつながっていること、さらにその自然を人間が富のために開拓してきた事実をも思い起こさせます。また、展覧会タイトルでもある《背負うなら太陽だけでいい》はロバをモチーフにした作品です。人の荷物を背負って生きるロバの過酷な一生とともに、自ら背負えない重荷をロバに背負わせてまで、人は何をどこまで運ぼうとして



背負うなら太陽だけでいい, 2020, 17.0×20.0×40.0cm

ているのか、人間の生き様や本当に大切にすべきことについて考えさせられます。熱や水、空気が循環する自然という大きな存在の中に生きていながら、普段はそれらを全く意識することなく、目の前にある自分の荷物だけを見て生きている人間たち。荷物を下ろしたロバの背中に輝く太陽が、自然の中のあらゆるものとのつながりとともに、本質的に大切なことを象徴しています。作品の持つ鮮やかさや質感のみならず、めぐる生命そして自然と人間との多層的な関わりは、小林がひとつひとつの素材を丁寧に選んで扱い、自らの手によってそれぞれの関係性を紡ぐことによって表現されています。それは、ばらばらに断絶されたもの同士のつながりを少しずつでも取り戻していくような行為でもあります。作品そのものが持つ魅力とそこに込められた思いを、作家の手の痕跡とともに感じていただけますと幸いです。

2020年11月3日～11月22日  
CADAN 有楽町にて開催

小林万里子は織る、染める、編む、刺す、といったテキスタイル技法を用い多様な素材を組み合わせていく方法で、世界に存在する様々な結びつきを表現してきました。「生命の循環」というのが制作における一貫した大きなテーマとなっています。《熱と水》では、山をモチーフに自然界の生態系のサイクルを描きます。太陽や雨、土、空気という身近にありながら、生きていくために不可欠な

### ■開催概要

#### 小林万里子 「背負うなら太陽だけでいい」

- ・会期：2020年11月3日（火・祝） - 11月22日（日）
- ・時間：火～金 11:00 - 19:00 土、日、祝 11:00 - 17:00  
※定休日：月（祝日の場合は翌平日）、11月15日（日）
- ・会場：CADAN 有楽町 東京都千代田区有楽町 1-10-1 有楽町ビル 1F

#### アーティストトーク

- ・日時：2020年11月13日（金）
- ・時間：18:30- 19:00
- ・会場：CADAN 有楽町 東京都千代田区有楽町 1-10-1 有楽町ビル 1F
- ・参加費：無料  
※15名程度 予約優先（予約方法は後日ウェブサイトでお知らせいたします）

